

# まつど議会だより

発行／松戸市議会  
編集／広報委員会  
千葉県松戸市根本387-5  
TEL.047(366)7382



松戸市議会の情報はホームページからもご覧いただけます。(http://www.city.matsudo.chiba.jp/gikai/index.html) 右のQRコードもご利用ください。(パソコン版)



第65代副議長  
張 勝 雄



第65代議長  
大 井 知 敏

## 議長・副議長 就任のご挨拶

市民の皆様には、平素より市議会に対し、深いご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。このたび、私たち両名は、平成26年11月臨時会において、議長・副議長に就任いたしました。その使命と職責の重さに、身の引き締まる思いがいたします。

さて、我が国では緩やかな景気の回復軌道にあるとされる一方、地方においては、地域自らが将来を見据えた環境整備や行財政サービスの効率化等、さまざまな施策が求められています。しかも、限られた財源の中で、超少子高齢化という経済社会構造

の変化によって増加傾向にある社会保障費等に対応していくためには、施策の優先順位も見定めなくてはなりません。

昨今、議員および行政への強い不信の声をいただいております。市民自治の根幹を成す市議会の役割と責任を果たしていくため、私たち市議会議員は、皆様の負託に真摯にこたえるべく、あらためて襟を正して、諸課題への対応に鋭意努力し強い決意をもって議会活動に努めてまいります。

どうか今後とも、一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 20歳の自覚と誇らしさに満ちた新成人たち —明るい未来へ希望に胸が躍ります。



平成27年松戸市成人式が行われた森の小ホール21

## 11月臨時会

平成26年11月27日に改選後初めての招集となる臨時会を開催しました。

はじめに議長、副議長の選挙を行い、続いて各委員会の委員を選任し、そして委員長、副委員長の内選を行いました。その後、市長から提出された衆議院解散に伴う選挙費用を計上する補正予算の専決処分報告を受け、これを承認しました。

さらに、議会選出監査委員を選任する議案2件にそれぞれ同意し、閉会しました。

(3面に各委員会の構成を掲載)

## 12月定例会

平成26年12月定例会を12月8日から25日まで開催しました。

今定例会では、初日に「桜井秀三議員に対する辞職勧告決議」を表決に参加した議員全員で可決しました。さらに、市長から提出された固定資産評価審査委員会委員の選任議案を採決しました。

また、平成26年度一般会計および介護保険特別会計ならびに病院事業会計に係る補正予算案3件、一般議案32件、市民の方々から提出された陳情2件を各委員会において審査しました。

最終日には、これらの案件のほか、追加議案として市長が提出した任期満了に伴う副市長選任の人事案件、議員提出議案9件を上程し、それぞれ採決しました。

(2面に審議結果、3面に主な質疑を掲載)

なお、32人が市政に関する一般質問を行いました。

## 桜井秀三議員に対する辞職勧告決議

我々市議会議員は、市民からの負託を受けた議員としての立場と職責を十分認識し、良識をもって行動しなければならない。

しかるに、桜井秀三議員は、議会事務局職員への引き出しからマスターキーを無断で持ち出し、他会派の控室に許可なく侵入したうえ、同会派のコピー機を無断で使用して自らの広報活動用のビラを大量に謄写した。さらに、他会派にも侵入し備品を無断使用した。

市民から負託を受けた議員として、この行為は極めて恥すべきことであり、断じて許されるものではない。

今回の事態は、全議員に疑心暗鬼の念を起させたほか、市議会議員の活動を常日頃補助する組織である議会事務局との関係を大きく毀損するものである。また、マスコミによる報道等の影響により、本市議会に対する市民の信頼を大きく裏切ることとなった。一般の市職員がこのようなことを行えば厳しく懲戒処分を受けることとなり、ましてや、公選により選ばれ市民の負託を受けた議員であれば、市政の監視機関である議会の一員として、市民に見える形で反省の意を示すべきである。

よって、本市議会は、桜井秀三議員に対し、自らが行った行為の責任を負うとともに、社会的、道義的責任の重さを深く受け止め、速やかに議員の職を辞するよう勧告する。

以上、ここに決議する。

千葉県松戸市議会

# 11月臨時会・12月定例会審議結果

番号	件名	付託先委員会	本会議の結果	採決	番号	件名	付託先委員会	本会議の結果	採決
<b>11月臨時会</b>									
<b>市長提出議案</b>									
第31号	専決処分の報告及び承認について (平成26年度松戸市一般会計補正予算(第5回)) 衆議院の解散に伴う衆議院議員選挙及び最高裁判所裁判官国民審査費に係る補正予算を計上する。	—	承認	全会一致	第55号	松戸市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の制定 介護保険法の改正に伴い、指定介護予防支援等の人員及び運営に関する基準を定める。	健康福祉	可決	多数意見
第32号	監査委員の選任について 議員のうちから選任した監査委員の任期が満了したので、杉山由祥を選任する。	—	同意	全会一致	第56号	松戸市営住宅設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定 母子及び寡婦福祉法の改正に伴い、条例で引用する同法の題名等を整備する。	建設経済	可決	全会一致
第33号	監査委員の選任について 議員のうちから選任した監査委員の任期が満了したので、飯箸公明を選任する。	—	同意	全会一致	第57号	松戸市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定 児童扶養手当法の改正に伴い、条例で引用する同法の条項を整備する。	総務財務	可決	全会一致
<b>12月定例会</b>									
<b>市長提出議案</b>									
第34号	平成26年度松戸市一般会計補正予算(第6回) 地方税務システム改修に伴う経費並びに特別会計への繰り出し等を補正する。	総務財務	可決	多数意見	第58号	松戸市水防協議会条例を廃止する条例の制定 松戸市水防協議会を廃止する。	建設経済	可決	全会一致
第35号	平成26年度松戸市介護保険特別会計補正予算(第2回) 介護保険システム改修経費等を計上する。	健康福祉	可決	多数意見	第59号	松戸市水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定 地方公営企業会計制度の見直しに伴い、新たに発生する未処分利益剰余金を資本金に組み入れる。	建設経済	可決	全会一致
第36号	平成26年度松戸市病院事業会計補正予算(第2回) 東松戸病院の緩和ケア病棟の整備工事に伴う経費並びに一般会計からの繰り入れ等を補正する。	病院特別	可決	多数意見	第60号	松戸市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定 地方公営企業会計制度の見直しに伴い、新たに発生する未処分利益剰余金を資本金に組み入れる。	健康福祉	可決	全会一致
第37号	松戸市男女共同参画推進協議会条例の制定 男女共同参画プランの推進等に当たり、市長の附属機関を設置する。	総務財務	可決	全会一致	第61号	松戸市病院事業使用料手数料条例の一部を改正する条例の制定 産科医療補償制度の加入掛金の引下げに伴い、分娩介助料を引き下げる。	健康福祉	可決	全会一致
第38号	松戸市一般職の任期付職員採用審査会条例の制定 一般職の任期付職員の採用に当たり、市長の附属機関を設置する。	総務財務	可決	全会一致	第62号	市道路線の廃止及び認定 土地区画整理事業及び開発行為による道路の帰属等に伴い、市道路線の整備を行う。	建設経済	可決	全会一致
第39号	松戸市美術品等選定評価委員会条例の制定 美術品等の適正かつ円滑な収集に当たり、教育委員会の附属機関を設置する。	教育環境	可決	全会一致	第63号	財産の処分 市有財産を処分し、東松戸駅周辺のまちづくりの基本方針に沿った一体的整備を図る。	総務財務	同意	全会一致
第40号	松戸市立博物館等資料選定評価委員会条例の制定 歴史資料の適正かつ円滑な収集に当たり、教育委員会の附属機関を設置する。	教育環境	可決	全会一致	第64号	和解及び損害賠償の額の決定 相手方との交渉の結果、当事者双方の意見が一致した。	教育環境	同意	全会一致
第41号	松戸市地域福祉計画推進委員会条例の制定 地域福祉計画の推進等に当たり、市長の附属機関を設置する。	健康福祉	可決	多数意見	第65号	指定管理者の指定 松戸市北山会館の指定管理者を指定する。	健康福祉	同意	多数意見
第42号	松戸市福祉有償運送運営協議会条例の制定 福祉有償運送運営に係る事項の協議に当たり、市長の附属機関を設置する。	健康福祉	可決	全会一致	第66号	指定管理者の指定 まつど市民活動サポートセンターの指定管理者を指定する。	教育環境	同意	多数意見
第43号	松戸市障害者計画推進協議会条例の制定 障害者計画の推進等に当たり、市長の附属機関を設置する。	健康福祉	可決	全会一致	第67号	指定管理者の指定 松戸駅東口自転車駐車場ほか51か所の自転車駐車場の指定管理者を指定する。	建設経済	同意	全会一致
第44号	松戸市地域自立支援協議会条例の制定 障害者等への支援の体制の整備に当たり、市長の附属機関を設置する。	健康福祉	可決	全会一致	第68号	指定管理者の指定 常盤平駅北口第1自転車駐車場の指定管理者を指定する。	建設経済	同意	全会一致
第45号	松戸市高齢者保健福祉推進協議会条例の制定 高齢者保健福祉事業及び介護保険事業の推進に当たり、市長の附属機関を設置する。	健康福祉	可決	全会一致	第69号	固定資産評価審査委員会委員の選任 委員1人の任期満了に伴い、高津明宏氏を選任する。	—	同意	全会一致
第46号	松戸市食育推進協議会条例の制定 食育推進計画の推進等に当たり、市長の附属機関を設置する。	健康福祉	可決	多数意見	第70号	副市長の選任 副市長の任期満了に伴い、織原和雄氏を選任する。	—	同意	全会一致
第47号	松戸市健康づくり推進協議会条例の制定 市民の健康づくりのための施策の推進に当たり、市長の附属機関を設置する。	健康福祉	可決	多数意見	<b>陳情</b>				
第48号	松戸市農産物ブランド化推進協議会条例の制定 松戸産農産物のブランド化の推進に当たり、市長の附属機関を設置する。	建設経済	可決	全会一致	第10号	戦没者御遺骨帰還に関する法律制定に賛成する意見書提出を求める陳情	総務財務	継続審査	
第49号	松戸市職員定数条例の一部を改正する条例の制定 病院事業の看護職員の定数を増員し、看護体制の充実を図る。	病院特別	可決	多数意見	第11号	普通教室へ早期にエアコンを設置し、児童・生徒の健康を守ることを求める陳情	教育環境	採択	多数意見
第50号	松戸市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定 一般職の職員の勤勉手当の支給割合の改定に準じ、市議会議員の期末手当の支給割合を引き上げる。	総務財務	可決	多数意見	<b>議員提出議案</b>				
第51号	特別職の職員の給与及び費用弁償の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定 一般職の職員の勤勉手当の支給割合の改定に準じ、市長、副市長等の期末手当の支給割合を引き上げる。	総務財務	可決	多数意見	第29号	桜井秀三議員に対する辞職勧告決議	—	可決	全会一致
第52号	松戸市一般職の職員の給与に関する条例及び松戸市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定 国家公務員の給与改定に準じ、俸給月額、初任給調整手当の額及び勤勉手当の支給割合を引き上げる等する。	総務財務	可決	多数意見	第30号	消費税10%への増税は中止するよう求める意見書	—	否決	多数意見
第53号	松戸市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定 産科医療補償制度の加入掛金の見直しに併せ、出産育児一時金の基本額を増額する。	健康福祉	可決	全会一致	第31号	陸上自衛隊木更津駐屯地をオスプレイの整備拠点としないよう求める意見書	—	否決	多数意見
第54号	松戸市地域包括支援センターの人員及び運営に関する基準を定める条例の制定 介護保険法の改正に伴い、地域包括支援センターの人員及び運営に関する基準を定める。	健康福祉	可決	全会一致	第32号	外形標準課税の拡大をやめるよう求める意見書	—	否決	多数意見
					第33号	少人数学級の拡充を求める意見書	—	否決	多数意見
					第34号	ヘイトスピーチ根絶への対策強化を求める意見書	—	否決	多数意見
					第35号	特定秘密保護法の廃止を求める意見書	—	否決	多数意見
					第36号	「女性が輝く社会」の実現に関する意見書	—	可決	多数意見
					第37号	地域の中小企業振興策を求める意見書	—	可決	多数意見
					第38号	法曹養成制度の抜本的な見直しを求める意見書	—	可決	全会一致

# 委員会の審査から

12月16日・17日・18日・19日・22日に各委員会を開催し、提出された議案・陳情について審査しました。  
 以下では、その審査の中での質疑・答弁(要点)を掲載します。

## 総務財務常任委員会

議案第34号 松戸市一般会計補正予算(第6回)

問 病院事業会計の収入減により、一般会計から9億円を支出し補填することだが、市の財政状況として簡単に支出できるものなのか。

答 病院事業を継続するためには致し方なく、赤字に至った経過、病院の経営努力や改善方法を求めた上でのものである。このたび、新病院の建設が決定したが、建設費用のほとんどを起債で賄うため、将来的には、一般会計で担う元利償還金等の繰出金以外の補填はできなくなる。病院事業では、さらに気を引き締めていかなくてはならない。

議案第52号 松戸市一般職の職員の給与に関する条例及び松戸市一般職の任期付き職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について

問 なぜこの時期に給与の引き上げを行うのか。

答 今回の改定は、国家公務員に対する給与の改定にかかる人事院の勧告内容に準じ、7年ぶりに、平成26年4月時点の月例給与を引き上げるものである。また、この勧告内容には、給与制度のあり方の総合的見直しとして、27年4月から国家公務員俸給表の水準を引き下げる内容も含まれている。本市でも、国・県・近隣市の状況を把握し、準備を進めていきたい。

## 健康福祉常任委員会

議案第54号 松戸市地域包括支援センターの人員及び運営に関する基準を定める条例の制定について

問 地域包括支援センターの果たす役割は非常に期待されており、現場の声に向けて人員の体制強化を進めてほしい。市では、センター職員の離職率や退職理由などは把握しているのか。

答 個別の退職理由は不明だが、離職の報告はその都度受けており、大変負担のある業務と認識はしている。市でも、人員募集を委託先の法人に任せるだけでなく、広報紙掲載等により支援していく考えである。

問 バブリックコメント(意見募集)では第一号被保険者が6千人を超えた場合には、2千人ごとに1人ずつ、地域包括支援センター職員の増員を検討してほしいとの意見があったがどう考えるか。また、人員増にあたり、保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員のうち、どの職種から増員していく考えか。

答 国の基準は、「3千人以上6千人未満ごとに3職種を一人ずつ配置する」という必要最小限の人員配置数を定めている。市としても、6千人を超える場合は2千人ごとに1人の増員が望ましいと考える。増員する職種については、地域包括支援センターと協議しながら、地域の事情に応じ必要な職種を選んでいく。

## 教育環境常任委員会

議案第66号 指定管理者の指定について(まつど市民活動サポートセンター)

問 指定管理者候補者のまつどNPO協議会は、さまざまな団体により構成されている。これを審査した外部委員の方についてはどのように選考したのか。

答 外部委員の選考については、市民活動等に詳しい学識経験者を、市内の大学の教授などの紹介により選んでおり、専門的な立場からの審議を依頼する形で選考を行ったものである。また、全ての委員の方に候補者と利害関係がないことについては、誓約書をもって確認をしたところである。

陳情第11号 普通教室へ早期にエアコンを設置し、児童・生徒の健康を守ることを求める陳情

問 PFI方式により事業を行うことでエアコン設置のスケジュールを少しでも早めることは可能なのか。

答 平成26年度に空調設備の整備を行うための事業手法を検討し、27年3月をめどに実施方針等を公表する。その後、公募・審査を行い、事業者の決定は27年12月頃となる。28年3月に契約を締結し、4月から設計・施工を行う形となるため、期間の短縮は難しいが、集中的に夏休みに工事できるような提案をした事業者を優先的に評価し、選定する形になるものと考えている。

## 建設経済常任委員会

議案第68号 指定管理者の指定について(常盤平駅北)

### 口第1自転車駐車場

問 なぜ同じ事業者が継続して指定管理者となっているのか。

答 当該団体は障がい者団体であり、就労機会の提供ということで継続してきた。本市には他にも障がい者団体があることは認識しているが、それぞれの団体でどのような業務が可能なのか、団体の支援体制等も加味した上で精査し、障がいのある方の就労機会の拡充も視野に入れ、検討を重ねていきたい。

問 指定管理者の制度は、民間のノウハウを行政の中に組み入れ、予算の軽減を図る目的もある。今回は随意指定により事業者が選定されているが、経費の節減がある程度達成されていないと難しいのではないかと考える。障がいのある方に就労の機会を提供するという政策目的で本事業を行うのであれば、指定管理でなくてもよいと思うが、市の考えは。

答 指定管理の目的を達成することが大事であり、それにはバックアップ体制が必要となる。バックアップ体制が整ってはじめて、障がいのある方々への就労機会の提供等市の政策目的が果たされるものと考えている。

## 市立病院建設検討特別委員会

議案第36号 平成26年度松戸市病院事業会計補正予算(第2回)

問 当初予算における病床稼働率の目標値81%が達成されていないが、その原因はなにか。また、薬品費等の材料費を増額しているが、不足の原因は。

答 病院経営の健全化に向けた重点施策の一つとして、入院患者の増加による収益の回復に取り組んでいる。そのためにも看護師を増やし、稼働可能なベッド数を増やすことが必要であるが、平成25年12月に取得した7対1看護基準の際の病床管理の影響が残り、看護師数の伸びが遅かったことが、病床稼働率の目標値を達成していない原因である。

現在、7対1看護基準に加えて、2交代の勤務体制を選択できるようにしたことで、看護師数が増加し、稼働可能なベッド数も増え、病床稼働率は、平成26年11月平均で76%、12月は8日までの実績で80%を超えている。しかしながら、7対1看護基準を超え、看護師数に対し入院患者を増やすぎると、基準を維持できないことから、診療報酬を返還するペナルティを科せられてしまうことがある。

材料費の増額は、通院治療による抗がん剤が増加したため、それにより外来収益も増額補正している。

# 委員会の新しい構成が決まりました

各委員会の構成員が決まりました。また、市立病院建設検討特別委員会が設置されました。(議会運営委員会と常任委員会の委員の任期は、委員会条例により2年となっています)

議会運営委員会	総務財務常任委員会	健康福祉常任委員会	教育環境常任委員会	建設経済常任委員会	市立病院建設検討特別委員会
委員長 市川 恵一	委員長 石川 龍之	委員長 石井 勇	委員長 織原 正幸	委員長 山口 栄作	委員長 中川 英孝
副委員長 伊東 英一	副委員長 鈴木 大介	副委員長 高橋 伸之	副委員長 木村みね子	副委員長 城所 正美	副委員長 城所 正美
委員 高木 健	委員 大塚 健児	委員 増田 薫	委員 山口 正子	委員 平田きよみ	委員 鈴木 大介
〃 山中 啓之	〃 山中 啓之	〃 岩瀬 麻理	〃 DELI	〃 関根シロ一	〃 原 裕二
〃 箕輪 信矢	〃 伊東 英一	〃 大谷 茂範	〃 松尾 尚	〃 鈴木 智明	〃 大橋 博
〃 木村みね子	〃 杉山 由祥	〃 高木 健	〃 箕輪 信矢	〃 大橋 博	〃 宇津野史行
〃 織原 正幸	〃 宇津野史行	〃 原 裕二	〃 飯箸 公明	〃 高橋 妙子	〃 織原 正幸
〃 諸角 由美	〃 二階堂 剛	〃 渋谷 剛士	〃 市川 恵一	〃 大井 知敏	〃 石川 龍之
〃 山口 栄作	〃 田居 照康	〃 諸角 由美	〃 谷口 薫	〃 張替 勝雄	〃 二階堂 剛
〃 二階堂 剛	〃 深山 能一	〃 岩堀 研嗣	〃 末松 裕人	〃 中田 京	〃 田居 照康
〃 田居 照康	〃 中川 英孝	〃 桜井 秀三	〃 小沢 曉民	〃 平林 俊彦	〃 末松 裕人
〃 平林 俊彦					〃 小沢 曉民

# 一般質問

12月定例会では、12月9日・10日・11日・12日・15日の5日間にわたり、市政に関する一般質問を行いました。その中から、主な質問と答弁の内容をお知らせします。

※議長・副議長および議会選出監査委員は、一般質問を行っておりません。

## 子どもの健康問題について

社民・無所属クラブ  
増田 薫

問 本市が、千葉県内で唯一行っている甲状腺超音波検査について伺う。

答 甲状腺超音波検査は、子どもたちの健康不安の軽減を目的として平成26年6月から開始した。既に申込者は医療機関の

受け入れ可能総数を超過しているが、年度内に検査ができなかった方々については、27年度に責任をもって実施したいと考える。

また、継続の実施を視野に考えているが、受診可能人数枠については医療機関側の事情を考慮する必要があるため、併せて検討していく。なお、本事業を含め、健康管理対策については国が専門家による検討会を開催していることから、その動向を注視して柔軟に対応していく。

## 乳児B型肝炎ワクチン予防接種費用の助成を

公明党  
織原 正幸

問 命を守る取り組みの一環として、乳児B型肝炎ワクチン予防接種費用の助成をスタートする考えはないか。

答 B型肝炎ワクチンは、接種年齢が若いほど良好な免疫が得られるとされ、高い効果や安

全性も確認されている。世界保健機構もすべての小児への接種を推奨しており、多くの国で定期接種として実施されている。現在、国においては、定期接種化に向けた検討がなされているところである。本市としても、乳児期の接種の有効性や安全性を確認・認識しており、費用助成事業について定期接種化を見据えつつ、医師会とも協議を進め、実施に向け検討していきたいと考えている。

## 老朽化した常盤平団地の再生について

松政クラブ  
木村 みね子

問 国土交通省では、高齢化に対応し、老朽化した団地からの住み替えを促す方針だという。市では、大規模で最も古い常盤平団地の再生をどう考えるか。

答 UR都市機構は、常盤平団地の既存建物を有効活用し、計

画修繕の実施を基本に、立地や特性に応じたバリアフリー化等を実施するとした。若い世代を呼び込むため現存の住宅を改修し、大変好評であるという。これは若い世代向けの改修に伴う課題等を検討するためのモデルの実施だが、今後改修を積極的に行うと聞き及ぶ。具体的な実践を重ね、URと信頼関係を築き上げつつ、地元や関係者の方々と協議を進め、その延長上に常盤平団地の方向性を見いだしたい。

## 災害時の避難場所について

公明党  
岩瀬 麻理

問 地震や水害、土砂災害等にに応じた避難所のあり方について伺う。

答 平成25年6月に改正された災害対策基本法では、緊迫した危険から逃れるための指定緊急避難場所と、避難者が滞在し

生活環境を確保する指定避難所を明確に分け、災害の種類ごとに指定をすることとした。現在、市でもすべての避難場所や収容避難所について、地域防災計画の修正作業を進めている。

また、同改正では、建物の2階以上へ退避するなどの屋内安全確保措置も避難行動とした。非常時には自らの判断で状況に応じた避難行動をとれるよう市民に周知していきたい。



## 歳入の確保について

無所属  
中田 京

問 市民からお金をいただくことについて、どのような共通認識を持っているのか。その基本姿勢に関し、部署を越えて全体で共有できているのか。

答 市民からいただくお金にはさまざまなものがあり、納付

の利便性および公平性の確保を念頭に徴収に取り組んでいるが、基本姿勢に対する共通認識については答えが難しいところである。徴収事務については行政全体で共有しなければならず、完全徴収一元化を実現することで共有が図れるものと考えている。市民からいただくお金については、市民の皆さまに負担いただいていることに対する共通認識が必要であり、研修等、機会をとらえて共有していきたい。

## 地域の課題について

公明党  
高橋 伸之

問 千駄堀（松戸六中東側）と松戸新田（證誠院西側）の浸水対策について伺う。

答 平成25年の台風26号は、本市で観測史上2番目の総雨量を記録する大雨であり、当該地区でも道路冠水が発生した。

千駄堀地区の対策として、調整池へのゴミの流入を防ぐスクリーンの改良が考えられる。今後、スクリーンに集まったゴミを自動で取り除くための装置の設置について検討していく。

松戸新田では、横断側溝の整備や既設雨水管の清掃、土のうの配布などを行ってきた。今後は、これまでの治水対策を継続するとともに、未整備となっている下流部の雨水幹線整備を検討していきたい。

## 春木川の水害対策について

日本共産党  
平田 きよみ

問 水害を解消するためには浸水地域への雨水流入を抑制することが不可欠と考える。すでに、春木川に流れ込む水量を抑制する雨水貯留池を整備するための調査委託料予算が計上され、現在、調査が進められているが、

その進捗よく状況について伺う。

答 春木川上流域の浸水対策として、雨水流出抑制施設の設置について、規模や候補地、さらに公共用地の利活用など協議、検討している。

また、東京都に対し、八柱霊園内に雨水流出抑制施設の設置を要望している。

都では、今後、貯留池建設に向けた準備を進めると聞いている。



降雨後の春木川

## 流山街道での下水道施設損傷事故について

公明党  
伊東 英一

問 台風18号の影響により流山街道は下水道施設が損傷し通行止めとなったが、この原因は。

答 台風18号の影響で不明水と言われる大量の雨水が汚水管に流れ込み、流入量が江戸川第一終末処理場の処理能力を大幅

に超えたことから、市川ポンプ場で一時運転を停止し、流下制限を行ったものである。そのため、水圧によりマンホールが破損し水が溢れたり、トイレが使用できない等の状況が発生した。今後は、引き続き不明水の浸入経路調査を実施し、千葉県と連携を図り、関係市に対し不明水対策の徹底を図ることや、県が実施している江戸川第一終末処理場の早期完成など、対策改善を協議、検討していく。

### 地方発の 平和イベントについて

公明党

石川 龍之

**問** 戦後70周年、世界平和都市宣言30周年の節目の年である平成27年に原爆展と世界民族音楽祭の開催はできないか。

**答** 本市の平和事業は、同宣言の趣旨にのっとり毎年継続して実施しており、27年には拡充

した平和記念事業を準備しているところである。原爆展については、若い世代に核兵器の恐ろしさを伝えていくために定期的な開催の必要性について共感しており、今後、関連団体とも協議していく。世界民族音楽祭は、市民一人ひとりが主体となって世界の平和を築いていくという趣旨についても共感するところであり、公益財団法人松戸市国際交流協会との連携を視野に検討していきたい。

### オストメイトトイレの 充実について

無所属

関根 ジロー

**問** オストメイトは、腹部につけたパウチにたまった排泄物を一定時間ごとに捨て、洗浄する必要があるが、そのための設備を備えているのがオストメイト対応トイレである。オストメイトトイレは流し台の高さが固

定式のもの普及しているが、新市立病院への可動式オストメイトトイレ導入計画はどのようなになっているか。

**答** 新市立病院の建設事業では、1階と2階に設けるトイレのうち5カ所について、停電時も使用可能で、かつ利用者の身長に合わせて洗浄台の高さを調整できる可動式オストメイトトイレを計画している。



可動式オストメイトトイレ

### セクシヤル マイノリティについて

公明党

城所 正美

**問** 厚生労働省の意識調査で、教職員6千人の73%が教育現場で教える必要があると回答した。性同一性障害などのセクシヤルマイノリティだが、学校現場での現状と今後について問う。

**答** 各学校では、日常の学校生活や教科を通し、児童生徒の人権意識を高めている。現在のところ報告はないが、潜在的にこのような児童生徒がいることを想定し、教職員の対応や教育相談スキルの向上を図ることは喫緊の課題である。スクールカウンセラーや関係機関との連携を密にし、相談体制を整え、さらに、各種研修会により教職員の人権意識の向上を図り、児童生徒一人ひとりに対応した支援の環境づくりを進めていきたい。

### 若者の就労の 現状と対策について

公明党

鈴木 智明

**問** 若者の就労の現状と本市における就労支援について問う。

**答** 雇用環境は依然として厳しく、正社員を希望しながら非正規雇用で働く若者は200万人に達している。市では就職活動セミナーや職業能力向上研修

等のほか、平成25年度からまつど合同企業説明会を企画し、33名が市内の中小企業に内定を獲得した。さらに26年度より地域若者サポートステーションを松戸地域職業訓練センター内に設置して、若年無業者が職業的自立を図るための就職相談や就業体験等を実施し、キャリアコンサルタントが、利用者に対し就職等進路決定まで一貫した支援をしている。



### 防犯対策について

公明党

松尾 尚

**問** 地域防犯にブローカー・ウインドウズ理論が有効と思うが、本市の考えは。

**答** ブローカー・ウインドウズ理論は、窓ガラスを割れたままにしておく、管理不全と見られ、ごみが捨てられ、やがて

は凶悪犯罪につながってしまうというもので、「割れ窓理論」と訳されている。小さな犯罪の芽を摘み、環境を良くしていくことが防犯につながるという考え方は、理解し、共鳴できる。

今後も、警察や防犯団体との連携強化を図り、小さな犯罪的な行為を見逃すことなく、適切に対処することを常に心がけ、地域防犯パトロールの実施など、さまざまな防犯活動を市内全域で展開していく。

### 常盤平駅南口と八柱駅北口の エレベーター設置は

市民クラブ

山口 栄作

**問** 新京成電鉄常盤平駅南口エレベーター設置事業の進捗状況と、同事業完了次第着手される予定の八柱駅北口エレベーター設置事業の見通しを問う。

**答** 常盤平駅南口エレベーター設置は、新京成電鉄等との協

議が平成26年11月末に整い、基本協定締結の事務手続きを進めており、順調に進めば27年7月ころに工事に着手し、約1年後に完成させたいと考えている。八柱駅北口エレベーターについては、整備方針が決定されており、協議に時間を要している。新市立病院の開院も控えており、28年度には設計および工事に着手できるよう協議を進めていきたい。



新京成電鉄八柱駅北口の階段

### 認知症対策について

公明党

諸角 由美

**問** 本市で初めての徘徊模擬訓練が実施されたが、今後の課題や取り組みについて問う。

**答** 徘徊高齢者を捜索して声かけを行い、発見したときには本部へ連絡するという徘徊模擬訓練後の意見交換会では、対話

や会話の難しさ、活動を継続した方がよい等の意見があった。認知症高齢者の徘徊は身近で重要な問題だが、この訓練は地域の方々や介護事業者等との連携がなければ実施することが難しいため、ネットワークづくりが大切である。今後も特別養護老人ホーム連絡協議会へ地域交流事業として訓練の実施を働きかけ、認知症の方を地域で支える全市のな取り組みにしたいと考える。



### JR北小金駅周辺の まちづくりについて

松政クラブ

大谷 茂範

**問** JR北小金駅南口および北口の今後のまちづくりをどのように進めていくのか。

**答** 南口では、地元組織の意向を踏まえながら「北小金駅南口東地区マスタープラン」を策定した。現況調査等を基に、方

向性や手法等、再開発の実現に向けた整備イメージを提案した。今後は、地元で勉強会等を行い、関係権利者の機運を高めながら合意形成を図っていく。事業の採算性も検証し、適切に推進していきたい。北口では、地権者や地域と話し合いながら、適正な駅前空間のあり方について位置や規模等を検討していきたい。駅前空間の整備をきっかけに、段階的なまちづくりへとつながる可能性が期待できると考える。

### スクールカウンセラー 増員への取り組みについて

清松会

箕輪 信矢

**問** スクールカウンセラー増員をはじめとするカウンセラー機能強化への取り組み状況は。

**答** 本市では、すべての中学校にスクールカウンセラーが配置され、小学校は学区の中学校のスクールカウンセラーに相談

依頼してきたが、平成25年度からは小学校への配置も進められている。また、教育研究所古ヶ崎分室と五香分室に教育相談機関を設置し、相談に対応した。スクールカウンセラー事業は、相談日等の充実、小学校への配置増などを県へ要望し、市の教育相談事業は、相談環境の整備等に努め、相談者の不安や悩みを丁寧に対応していきたい。



### 東部地区の課題について

松政クラブ

鈴木 大介

問 東京外かく環状道路（外環）、北千葉道路、都市計画道路3・3・7号紙敷河原塚区間（都市計画道路）の千葉県への要望の進捗よくについて伺う。

答 外環については国から千葉県区間の本線部における用地

をすべて取得したと聞き及んでおり、平成29年度に県区間の全線開通を目指し、工事が進むと思われる。外環に接続する北千葉道路は、26年11月、県が国に本市を含む未整備区間の直轄事業による整備を要望したと聞いており、事業化への動きが着々と進んでいると思われる。都市計画道路は、北千葉道路から市内中心部へアクセスするための重要な幹線道路であり、引き続き県と協議していく。

### 土壌における放射性物質検査の必要性について

社民・無所属クラブ

DELLI

問 放射性物質検査では環境省のガイドラインではなく松戸市独自の基準を設けるべきでは。また、公園や砂場は、土壌の計測をすべきではないか。

答 本市では放射性物質汚染対処特別措置法に基づく「松戸

市除染実施計画」により生活空間の放射線量を低減することを目的とし、除染の指標値は空間放射線量を指標としている。除染関係ガイドラインで市民の健康を守るものと考えている。また、公園等の砂場での除染は、本市独自の基準として高さ5センチで測定している。子どもたちの放射線による影響を最大限に考慮して取り組んでおり、その健康維持と安全安心を優先した考えを継続していきたい。

### 空き家対策について

松政クラブ

小沢 曉民

問 管理不全状態にある空き家を対象とする指導助言等では、空き家解消の根本的な解決にならないと思う。空き家の再利用の考えと取り組みについて伺う。

答 空き家対策については、高齢者世帯が所有する住宅を子

育て世代へと住み替えを促すといった、ライフステージにあった住宅を確保する観点からも、中古住宅市場の活性化を念頭におき、取り組みを行っていきたいと考える。ただし、再活用可能な空き家対策を講じるためには行政だけでは限界がある。住宅は個人の財産であり、不動産事業などが関わることから、どのような連携が可能か関連事業者等との意見交換などにより情報収集に努め、検討を進めたい。

### 東松戸駅前に児童館設置を

日本共産党

宇津野 史行

問 東松戸駅前の紙敷土地地区画整理事業65街区に公共施設を整備することだが、その施設の中に児童館を入れる考えは。

答 東松戸地区は人口増加が著しく、子育て関連施設の需要も増加すると考える。また、児

童等へのアンケートでは、自由に安心して過ごす施設や遊べる環境整備のニーズが高く、これらを踏まえ、現在、(仮称)松戸市子ども総合計画を策定している。平成31年度までに、必要とされる区域において児童館機能を有した幅広い年齢の子どもの居場所を新たに2カ所整備する方向で検討している。



東松戸駅前の65街区

### 文化施設やスポーツ施設等の利用システムについて

市民力

山中 啓之

問 施設を予約しながら使用しなかった利用者に対し、使用料の支払いや利用停止などのペナルティが全くない。これをどう考えるか本市の見解を伺う。

答 予約は申請前の手続きであるため、ペナルティを科すこ

とはできない。これは制度導入の際に利用者の利便性を図るべきとの見解に至ったからである。しかしながら、公の施設の公平公正な利用の観点からも、緊急に対応が必要である。利用者への十分な周知期間をもって、平成27年6月までに無断キャンセルが続くような利用者等に対し、予約システムの利用を制限するペナルティを設けていく。



### 市立松戸高校に体育科の設置を

清松会

大塚 健児

問 スポーツを通して松戸市を元気にするという観点から、優秀な選手を市外に流出させないよう、市立松戸高校に体育科を早期に設置できないか。

答 市立松戸高校では、平成8年度から学科の新設を想定し

つつ協議し、11年4月に国際人文科を新設した。体育科はないものの、部活動を通してスポーツの振興に寄与できる人材の育成に努めている。現在、将来を見据えた改革プランを検討しており、高校大学連携や履修コースの拡充、部活動の活性化を視野に、市内で活躍する中学生にとって魅力ある学校づくりに努めていく。



応援にも力が入ります

### 交通政策について

日本共産党

山口 正子

問 高齢化社会への対応としての公共交通政策をどう考えているか。また、コミュニティバスに対する市民からの要望やニーズ調査の計画はあるか。

答 高齢化社会への対応として、持続可能な公共交通網の

形成を目指している。今後は、市民や公共交通事業者・学識経験者等を構成メンバーとする地域公共交通活性化協議会を組織し、本市の公共交通網形成計画を策定していく。その中で、コミュニティバスに限らず、乗り合い形式のデマンド交通や既存バスの再編等、地域ごとに適切な施策の検討を行いたいと考えている。交通ニーズや実情を把握するため、平成27年度からアンケート調査を実施したい。

### 雇用の実態について

市民力

谷口 薫

問 各職場に従事する本市職員の配置の現状と職員からの意見等への対応について伺う。

答 毎年、新年度の組織の体制を見据え、その時代にあった人事異動基本方針を掲げ、職員配置を行っている。人事異動基

本方針では、同一職場で5年以上在籍する職員は原則として異動の対象とすることなどを掲げている。また、毎年、自己申告・自己評価申告書や所属長とのヒアリングなどで、現在の職務内容や人事異動についての意見聴取などを行い、職員の見解・適性などを把握している。複雑化、高度化した課題に対応できる人材の育成を図り、市民サービスの向上につながるよう、適材適所に職員を配置している。

### 北小金駅南口階段に屋根を設置する考えは

日本共産党

高木 健

問 北小金駅南口階段を多くの方が傘を差して上っていく状況は安全面で問題があると思われる。屋根を設置できないか。

答 北小金駅南口ロータリーから駅構内に入るため、多くの方が利用するこの階段は幅約2

メートルで、雨天時には1列になって傘を差しながら階段の上り下りをする必要がある。階段部分に屋根を設置するなど改善の余地があると認識している。今後は、駅を利用する方が少しでも安全で快適に通行できる空間を確保するため、階段部への屋根の設置について、鉄道事業者など関係機関と研究していく。



JR北小金駅南口階段

### 生活支援事業について

日本共産党  
高橋 妙子

再就職を試みてうまくいかず生活再建が難しい生活保護受給者には、しっかりとした支援が必要である。市役所内に開設されたハローワークの相談窓口について伺う。

生活困窮者への早期支援、

求職活動状況の共有化など、就業支援を強化し、就労による自立を促進するため平成26年11月に窓口を開設した。窓口では、市が推薦した支援候補者と面接を行い、対象者と支援方法を決定して、その人のニーズ等を踏まえた支援プランの策定による個別の支援を行う。11月末で3人が企業に採用されている。今後も関係機関と連携をし、生活保護受給者等の自立支援に向けた実効性のある事業にしたい。

### 放課後児童クラブについて

社民・無所属クラブ  
一階堂 剛

小学6年生までを受け入れる放課後児童クラブ施設整備と放課後KIDSルームとの連携を含めて、平成27年度からの施設整備や運営等の取り組み計画はどのようになっているのか。

「放課後子ども総合プラ

ン」により、27年度から、放課後児童クラブと放課後KIDSルームを一体的に整備・推進する予定である。児童数の増加見込みを踏まえ、放課後児童クラブでは施設の確保を行い、それぞれが設置される小学校において、すべての児童の居場所として柔軟に運営できるように進める。今後は、詳細事項についても定めるなど、円滑な実施に向けた準備を進め、計画的な事業推進を図っていききたい。

### 国や県との連携について

市民クラブ  
渋谷 剛士

東京オリンピック・パラリンピック関連事業や地方創生の取り組みに対する国や県の支援や補助の活用に関して現状と今後の考え方について伺う。

国や県の動向を注視するとともに補助事業を活用し、本

市のまちづくり施策に生かしていくことは重要と認識している。そのような視点から、国の緊急経済対策に対応し、補助金等の獲得に遺漏のないよう、財務部、総務部、総合政策部の3部による「日本経済再生に向けた緊急経済対策検討会」を平成25年5月に設置した。これまで国から約1億円の交付を受け、市立高校のトイレ改修に活用してきた。今後も情報収集に努め、補助制度を積極的に活用していく。

### まちづくり補助金、にぎわい補助金について

市民力  
原 裕二

平成26年6月議会で、補助率が良く、市や商店会に大変有益である国のまちづくり補助金とにぎわい補助金の活用を提案したが、その後の活用状況は、

8月に最終募集が終わり、本市ではまちづくり補助金で9商店会、にぎわい補助金で24商店会の計33商店会が採択された。補助率の高い補助金の活用は、地域商業活性化の起爆剤となり、商店会の活性化につながるものと期待する。市では補助金による商店会のイベント内容を把握しており、ホームページ等でPRを行うことで、波及効果として商店会同士の情報共有が図られればと考える。両補助金の継続の有無は、国の動向を注視し、情報が入り次第、周知を図りたい。

### 急性期対応の病院のあり方について

無所属  
桜井 秀三

急性期対応の病院を建設することで、松戸市は東松戸病院および現在の市立病院を含め3つの市立病院を運営するのか。

千駄堀の新市立病院は、新病院基本整備計画(改訂版)をもとに600床規模の高度急性期病院の建設を前提に進めている。しかし、今後は医療・介護および福祉サービスの需要が高まるとされるなど病院事業は医療環境の変化への対応を求められていくと思われる。高齢者のための慢性期医療や東松戸病院の医療機能については、議会に設置されている市立病院建設検討特別委員会と相談しながら市立2病院の今後のあり方と併せて検討したいと考える。



### (仮称)関台小学校建設について

清松会  
大橋 博

(仮称)関台小学校建設用地の不法な廃棄物の現状について伺う。

(仮称)関台小学校建設現場内で発見された地中埋設物には、有害物はなく、適切に現場外に搬出し、産業廃棄物とし

て処分する。埋設物に対する近隣住民から心配の声も聞き及んでおり、校庭になる部分も含め、平成26年8月上旬から11月上旬にかけて、相当数、地質分析を実施した。この地質分析は、27年度に発注予定の校庭整備を含む土木工事に先立ち、委託会社が現地調査したものであり、その結果に問題はなかった。



(仮称)関台小学校建設現場

## 会派別一覽

松戸市議会では、3人以上で構成する団体を会派としています。

会派	議員数	会派	議員数	会派	議員数	会派	議員数
公明党	10	松政クラブ	9	市民クラブ	8	社民・無所属クラブ	3
美之明尚理之一明幸美		山由祥		人		二階堂 剛	
正龍智	麻伸英公正由	杉山茂大	みね子雄康彦民	松山裕能剛	恵研知栄英	無所属	1
所川木尾瀬橋東善原角	高伊飯織諸	石大鈴木張田平小	居林沢	末深	市岩大山中	関根 ジロー	1
日本共産党	5	市民力	3	清松会	3	無所属	1
行子み子健		山啓之		大橋博		大橋博	
宇津野史	橋田口木	山谷中	裕	大箕大	信健	無所属	1
高平山高		谷原				中田京	1

議員定数 44人

### 意見書3件提出

地方自治法第99条の規定により国会および関係行政庁に対し、次の意見書を提出しました。

- 「女性が輝く社会」の実現に関する意見書
- 地域の中小企業振興策を求める意見書
- 法曹養成制度の抜本的な見直しを求める意見書

議会選出の監査委員に欠員が生じたことに伴い、新たに選任するための議案が11月臨時会に提出され、次の2人が選出されました。

#### ● 監査委員

飯 杉  
箸 山  
公 由  
明 祥

### 議会選出監査委員

● 固定資産評価審査委員会委員  
高津 明 宏

副市長、固定資産評価審査委員会委員の1人の任期満了に備え、選任に同意しました。(敬称略)

#### ● 副市長

織原 和 雄  
高津 明 宏

### 人事案件

### 松戸市議会の情報をホームページで公開しています。

#### 松戸市議会ホームページへ

<http://www.city.matsudo.chiba.jp/gikai/index.html>



松戸市議会 検索

本会議の様子は、松戸市ホームページのまつど市議会の「インターネット議会中継はこちら」からご覧いただけます。

ライブ放映は、本会議開始直前から終了まで議場の様子を放映します。

過去の議会中継は、会議の翌日夜からの公開となります。また、「松戸市議会会議録検索システム」では、過去の会議録も公開しておりますので、どうぞご利用ください。



議会中継



会議録検索

インターネット放映アクセス件数 37万1,962件  
(平成17年6月開設～平成26年12月末現在)

### 3月定例会の開催予定

平成27年松戸市議会3月定例会は、2月24日(火)から3月24日(火)までいずれも10時より開催される予定です。  
請願・陳情は、2月13日(金)正午までに提出してください。

期 日	主 な 内 容
2月24日(火)	招集日・本会議(施政方針・議案提案理由説明)
25日(水)	常任委員会(先議議案審査)
3月2日(月)	本会議(先議議案採決)
3日(火)	// (一般質問)
4日(水)	// (一般質問)
5日(木)	// (一般質問・議案質疑)
6日(金)	総務財務常任委員会
9日(月)	健康福祉常任委員会
11日(水)	教育環境常任委員会
12日(木)	建設経済常任委員会
16日(月)	予算審査特別委員会
17日(火)	//
19日(木)	//
20日(金)	//
24日(火)	本会議(議案等の採決)

※このほか、随時、委員会が開催される場合があります。また、開催予定が変更となる場合もありますので、ホームページでご確認ください。

### 議会を傍聴しませんか

議会では、市民の皆さんの生活に関するさまざまな問題を取り上げて審議しています。私たち議員が、どのような活動をしているか、議会を傍聴しにいらつしやいませんか。

#### 議会を傍聴するには

- (1) 開催当日、議会棟にて開会予定時刻の30分前から傍聴の受付を行います。
  - (2) 受付で住所・氏名をご記入ください。
  - (3) 係員が傍聴席のご案内します。
  - (4) 車椅子でお越しの方は、係員にお申し出ください。
- なお、手話通訳・要約筆記をご希望の方は、事前にご連絡ください。

● 問い合わせ先 市議会事務局庶務課  
TEL 047(366)7381

### 声の議会だよりをご利用ください

松戸朗読奉仕会のご協力により、視覚障害の方を対象に、議会だよりを朗読した録音物の貸し出しをしております。詳しくは左記までご連絡ください。

● 問い合わせ先 松戸市障害者福祉センター(ふれあい22内)

TEL 047(383)7111  
住所 松戸市五香西3-7-1

### 編集の窓

2015年を迎え、はじめての発行となる議会だよりをご覧いただきありがとうございます。

昨年の11月に執行された松戸市議会議員一般選挙で、市民の皆様に出された44人の議員による第19期松戸市議会がスタートいたしました。

近年は、地方創生のスローガンのもと、地方自治の重要性がさらに増してきています。また、二元代表制のもと、地域住民を代表する地方議会の役割の重要性も活発に議論されています。そのような流れの中で、議会広報紙の果たす役割の重さをしっかりと自覚し、市民の皆様にご覧いただけるように、広報委員一同努力してまいります。

本年もよろしくお願いたします。

#### 広報委員会

委員長 渋谷 剛士  
副委員長 大谷 茂範  
委員 山口 正子  
大塚 健児  
D E L I  
鈴木 智明  
鈴木 大介  
石井 勇之  
山中 啓之  
伊東 英一  
市川 龍一  
石川 龍一

次回発行予定は  
5月1日(金)です